

目標達成計画

作成日: 令和 3年 3月 4日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	10	利用者ご家族に向けたアンケートの結果では、ご家族とのコミュニケーションが必ずしも十分ではなかったことが判明。	特にこのコロナ禍のなかではなかなかご家族と対面してお話する機会が設定できないので今後はご家族の来所時だけではなく、すべての機会を利用してコミュニケーションを図り、ご家族にはより安心してお任せいただけるようになること。	ご家族とLINEやブログなどのSNSツールで繋がっているようにする。現行は2家族とだけの繋がりがですが、できればすべてのご家族・後見人様と繋がる。その他、毎月の利用料請求時や保険証更新時などに行っている利用者の近況連絡をさらに充実させる。	2ヶ月
2	35	年2回行っている防火、防災避難訓練は過去2回についてはコロナの影響で消防署の立ち会いがなく、防災設備業者の立ち会いのみ。よって、消防署からのアドバイスが得られなかった。	職員全員が災害時には昼夜を問わず自分の役割を自信をもって遂行できること。なお、備蓄品は十分に揃っていること。	職員全員が少なくとも年1回は訓練を受ける。令和3年度も消防の立ち会いがあるかどうかはまだ未定だが、防災設備業者(防災技術センター)には更に細かく指摘やアドバイスを受けられる様にする。備蓄品は隔月に見直しをする。	10ヶ月
3	7	職員と利用者の間では現在は問題は無いが、新人職員が入った場合などにも問題が発生することの無いように教育プログラムを作る必要がある。	なんの問題もなく利用者が安心して暮らす事が出来る、笑顔の耐えない環境になっていること	現在セコムのカメラで24時間体制で記録を確認できているのと、未然に防ぐ事ができるように職員の教育プログラムを作成、実施。	6ヶ月
4	21	利用者同士の関係を把握し、関わり合い、支援するように努めているはいるが、利用者同士での不具合は稀に生じる事がある。	利用者間で互いに労り合いながら毎日を楽しんで暮らせていること。	利用者間での問題には常に注意を払って未然に防ぐ努力を続けている。問題行動として捉えるのではなく、助けを求める心の叫び声として受け止めて職員全員で利用者の心のひだに寄り添う介護に務める。	6ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。